

令和6年度 第2回買物公園エリアプラットフォーム会議 会議要旨

【開催日時】

令和6年5月31日（金） 18:30～20:40

【開催場所】

旭川市庁舎1階市民活動スペース

【会員参加者（敬称略）】

赤松 昌輝, 有馬 準, 柏木 公司, 近谷 岬, 佐藤 祐哉, 四戸 秀和, 須川 亜優,
鈴木 伸治, 長尾 英次, 中田 崇太, 蜂須賀 咲来, 三浦 詩乃, 山田 直人, 旭川市

【会議資料】

- ・ 第2回 エリアプラットフォーム会議
- ・ 別紙 滞在空間イメージ案に対する再設計（リ・デザイン）に向けた気づき等

【会議内容】

- 1 開会
- 2 議事

① 社会実験のキャッチフレーズ・タイトル等について

- 進行役より、配付資料「第2回 エリアプラットフォーム会議」に基づき、社会実験のタイトルとキャッチフレーズについて説明。買物公園エリアプラットフォーム会員の意見を基に、ディレクターと事務局で検討した結果、タイトルは、「買物公園 まちにち計画」に、キャッチフレーズは、「わたしたちの“毎日”をつくってみる28日間」に、それぞれ決定したことを説明。
- 事務局より、同資料に基づき、バスキングエリアの概要、SNSの運用方法、ADWにおけるプレイバントの実施について説明。
- 以上の内容について、説明のとおり進めていくことが確認された。

② 滞在空間の設計・設置、コンテンツ等について

- 各ディレクターより、現在の各ゾーンにおける滞在空間の設計・設置案について説明。
- 各ゾーンの案に対して気付いたアイデアなどを、参加者が自由に記入し、意見を共有。
- 事務局より、配付資料「第2回 エリアプラットフォーム会議」及び「別紙 滞在空間イメージ案に対する再設計（リ・デザイン）に向けた気づき等」に基づき、滞在空間についての今後のスケジュールと、再検討に当たっての留意点について説明。
- <グループワーク>
 - ・ 各ゾーンごとに、参加者の意見等を受けての見直しや整理すべき事項、滞在空間で実施するコンテンツについて議論するため、グループワークを実施。
 - ・ グループワークを通じて、各グループで反映した内容やコンテンツのアイデア等について、次のとおり発表を行った。

《ゾーンⅠ》

- ・ 椅子を設置し、既存のベンチも活用できるような設えにしたい。
- ・ アッシュアトリウムを有効活用し、音楽や子ども向けのイベントなどを開催したい。
- ・ 買物公園の玄関口として、買物公園の認知度を高めるイベントや、訪れた人々に楽しんでもらいながら他のゾーンに誘導するような仕掛けを作りたい。

《ゾーンⅡ》

- ・ DJやライブを行うためのステージを設置し、週ごとにコンセプトを変えて、音楽やアートの展示など、夜間を中心に様々なイベントやパフォーマンスを開催したい。
- ・ パーゴラにミラーボールを設置することを検討したい。
- ・ 椅子やテーブルについては、他のエリアと統一感のあるデザインにしたい。
- ・ 昔の買物公園にあった鳥かごのようなモニュメントを表現したい。

《ゾーンⅢ》

- ・ 自転車を置くことができるサイクルラックを設置したい。
- ・ テーブルをより長いものにして、幅広いターゲットが利用できる場にしたい。
- ・ まちの情報提供を行う人々が、来訪者とコミュニケーションを図る場を作りたい。

《ゾーンⅣ》

- ・ 参加者からは、旭川の魅力についてアイデア交流できる場や、健康器具の設置、テーブアートを活用したアートゾーンの設置などのアイデアがあった。
- ・ コンテンツ案としては、古本や古着の交換会、映画祭、キャンドルナイトイベントやバーの開催などを考えている。
- ・ 他のゾーンと連携した取組として、ドレスコードを設定したり、音楽を流したり、ゴミ拾いを行うイベントなども考えられる。

- 各グループの発表に対して、参加者から、次のような意見があった。
 - ・ 旭川市はデザイン都市として評価されているので、買物公園にいる様々なジャンルの方とアイデアを出しながら、旭川の魅力を発信することができれば良いと思う。
 - ・ 社会実験のタイトル「まちにち計画」を浸透させるための活動があると良い。社会実験を成功させるには、特に最初の1週間の盛り上がりが重要だと思うので、積極的にコンテンツを仕掛ける必要がある。
 - ・ 各ゾーンが同じようなコンテンツにならないよう、全体のマネジメントが必要である。それぞれの場所が目的地となり、訪れた人々がもっと向こうへと続くような連携を考えていきたい。滞在空間に来てもらうだけでなく、沿道の店舗に入ってもらう動きを促すことが重要であり、店舗の方々と一緒に仕掛けを考えていく必要がある。

③ 電動モビリティの運行等について

- 事務局より、配付資料「第2回 エリアプラットフォーム会議」に基づき、電動モビリティの運行内容等について説明。

④ 次回会議について

- 事務局より、次回会議の日程や議事内容等について案内。

3 閉会